

大田区 青少年委員会

樟

くすのき

YOUNG FES
h!!盛祭
～ 青年たちの文化祭～ VOL.14

「広報だより」 編集・発行
大田区青少年委員会広報部
令和7年5月
題字 会長 松本 君代

大田区青少年委員会ホームページ

<https://www.ota-seisyonen.org/>



ヤングフェスに思うこと



事業部長
川口 雅也

雨にも負けず！雨天を吹き飛ばす熱気に包まれた今年の「ヤングフェス Oh!!盛祭」ホール改修中のためステージをホール以外でおこなった、初めての開催となりました。

例年とは異なる環境にもかかわらず入念な準備をしたことで、みんなが楽しみながら開催できました。

区内の各地域から集まってくれた青年実行委員たちの熱い情熱と素晴らしい行動力、そして想像力の高さに引き込まれてしまいました。私たち青少年委員も負けてはいられません。

これからも「ヤングフェス Oh!!盛祭」を通じ、多くの若い人たちの無限の可能性を引き出せるように、全力で活動してまいります。そのパワーが大田区全体に響き渡れば最高です。

なお、開催にあたりましては、大

田区および大田区教育委員会をはじめ多くの皆さんに多大なるご支援ご協力をいただきましたこと、あらためまして厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。



Oh!!盛祭 Vol.14
ポスター

青年実行委員長挨拶



青年実行委員長
斉藤 優舞

ヤングフェス Oh!!盛祭 Vol.14 を無事に開催できたことを、心より嬉しく思います。

今回は、大田文化の森ホール棟の改修工事が行われている中での開催となりましたので、できることに制限のあるコーナーもありま

した。

しかし、その制限を逆に活かして Vol.14 ならではの企画が展開され、各コーナーで楽しんでいただけではないかと思っています。

また、青年実行委員と青少年委員の皆さんとのつながりだけでなく、ご来場いただいた皆さまとのつながりも含めて Oh!!盛祭 のだとあらためて感じました。

今後も Oh!!盛祭 が、たくさんの人とつながる場であり続けることを願っています。

最後に、ヤングフェス Oh!!盛祭 Vol.14 に携わってくださったすべての皆さまに、厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。



Oh!!盛祭 Vol.14
青年実行委員

中学生百人一首大会

今年で十回目となる中学生百人一首大会は、大会直前での学級閉鎖による出場辞退があったものの、区内五中学校から二十七名が参加し行われました。



参加者の実力は例年になく伯仲し、決勝戦では一枚差で順位が決まるなど、最後まで目の離せない展開となりました。

上位成績は次の通りです。

【団体戦】

★優勝★

志茂田中学校A

★準優勝★

石川台中学校

★第三位★

志茂田中学校B

【個人戦】

★優勝★

杉山 優凛香さん(志茂田中学校)

★準優勝★

棚瀬 紗那さん(志茂田中学校)

★第三位★

日野 更紗さん(大森第四中学校)



詠み手としてご協力いただきました、阿部校長先生、読書学習司書の打谷様、また、引率いただきました先生方に感謝申し上げます。

(榎中)

!! Hyakunin Isshu

「これからも料理をたくさん楽しんでください」との審査員・東京誠心調理師学校の先生方のお言葉です。

(安藤)

!! Cooking

今年の模擬店では、三名の中学生ボランティアの協力を得て、駄菓子とポップコーンを販売しました。

駄菓子コーナーでは、十円〜五十円のは、十円〜五十円のなつかしい駄菓子とくじ引きを用意しました。また、百円単位でピッタリ購入できたお客さんにはオマケを用意しました。

子どもも大人も、ピッタリを目指して「あと三十円」「あと十円」と真剣に選ぶ姿がとても印象的でした。

ポップコーンコーナーでは、一袋百円で三つの味を用意しました。ポップコーンを作るのは初めてのメンバーでしたが、ふっくら香ばしいものを提供することができました。

模擬店は来場者のお昼を賄う役割もあるので、次年度以降は要検討ですが、楽しんでいた企画にできたらと思います。

(齋藤(敦))



駄菓子コーナーでは、十円〜五十円のは、十円〜五十円のなつかしい駄菓子とくじ引きを用意しました。また、百円単位でピッタリ購入できたお客さんにはオマケを用意しました。

子どもも大人も、ピッタリを目指して「あと三十円」「あと十円」と真剣に選ぶ姿がとても印象的でした。

ポップコーンコーナーでは、一袋百円で三つの味を用意しました。ポップコーンを作るのは初めてのメンバーでしたが、ふっくら香ばしいものを提供することができました。

模擬店は来場者のお昼を賄う役割もあるので、次年度以降は要検討ですが、楽しんでいた企画にできたらと思います。

(齋藤(敦))



ポップコーンコーナーでは、一袋百円で三つの味を用意しました。ポップコーンを作るのは初めてのメンバーでしたが、ふっくら香ばしいものを提供することができました。

模擬店は来場者のお昼を賄う役割もあるので、次年度以降は要検討ですが、楽しんでいた企画にできたらと思います。

(齋藤(敦))

模擬店は来場者のお昼を賄う役割もあるので、次年度以降は要検討ですが、楽しんでいた企画にできたらと思います。

(齋藤(敦))

模擬店は来場者のお昼を賄う役割もあるので、次年度以降は要検討ですが、楽しんでいた企画にできたらと思います。

(齋藤(敦))

模擬店は来場者のお昼を賄う役割もあるので、次年度以降は要検討ですが、楽しんでいた企画にできたらと思います。

(齋藤(敦))

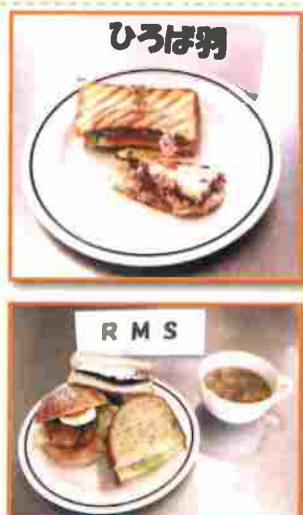
!! Mogiten

クッキング☆バトル

今年度の料理対決は、高校生チーム、中学生チーム、中学生混合チームの三チームでの対戦でした。テーマは「桜の木の下で食べたいサンドウィッチ」それぞれに工夫をこらしたサンドウィッチとなりました。

味、工夫、チームワークなどの審査百四十点満点と一般来場者の見た目審査の得票数の合算で争った結果、優勝は高校生チーム。しかし、その点数の差はなんと、たった一〜二点だったのです。どのチームが優勝してもおかしくない、本当に大接戦でした。

味、工夫、チームワークなどの審査百四十点満点と一般来場者の見た目審査の得票数の合算で争った結果、優勝は高校生チーム。しかし、その点数の差はなんと、たった一〜二点だったのです。どのチームが優勝してもおかしくない、本当に大接戦でした。



ヤング☆ステージ

今年はホールが工事で広場も使用不可、文化の森五階の多目的室を使用しての開催でした。

多目的室での運営は少々不安でしたが、ベテランの知恵と若手のセンスでホールに負けないステージをセッティングすることができました。

そのような制約下でも六団体のご応募があり、それぞれ思い思いのパフォーマンスを繰り広げました。

「のど自慢大会」では最大八十歳の年齢差の方々が集まり、こちらもステージ出演者に勝るとも劣らないパフォーマンスでした。

ご参加された皆さまへの感謝の念に絶えません。裏を返せば、普段経験できない貴重なひとときだったのだと思います。

次回はホールの開催に戻って、今回の運営を踏まえてより洗練されたステージをお届けしたいと思っています。

(山本(育))

次回はホールの開催に戻って、今回の運営を踏まえてより洗練されたステージをお届けしたいと思っています。

(山本(育))

次回はホールの開催に戻って、今回の運営を踏まえてより洗練されたステージをお届けしたいと思っています。

(山本(育))

次回はホールの開催に戻って、今回の運営を踏まえてより洗練されたステージをお届けしたいと思っています。

(山本(育))

次回はホールの開催に戻って、今回の運営を踏まえてより洗練されたステージをお届けしたいと思っています。

(山本(育))

次回はホールの開催に戻って、今回の運営を踏まえてより洗練されたステージをお届けしたいと思っています。

(山本(育))

次回はホールの開催に戻って、今回の運営を踏まえてより洗練されたステージをお届けしたいと思っています。

(山本(育))

次回はホールの開催に戻って、今回の運営を踏まえてより洗練されたステージをお届けしたいと思っています。

(山本(育))

次回はホールの開催に戻って、今回の運営を踏まえてより洗練されたステージをお届けしたいと思っています。

(山本(育))

次回はホールの開催に戻って、今回の運営を踏まえてより洗練されたステージをお届けしたいと思っています。

(山本(育))

次回はホールの開催に戻って、今回の運営を踏まえてより洗練されたステージをお届けしたいと思っています。

(山本(育))

!! Stage

大森第四中学校アコギーズ
HIBIKI
SHI-MAI
せいしゅん Teachers
馬込東中学校ダンス部

：ギター演奏
：弾き語り
：ダンス
：ダンス
：ダンス



今年のチャレンジ

迷路
空気砲つり
おかしつり

人手不足の問題がありました。が、四階に集約することで準備もスムーズに運びました。（担当実行委員、青少年委員はスペシャリスト揃い！）当日の悪天候にもかかわらず、昨年を上回る百六十名の来場者があり、各コーナーを大いに楽しんでいたのだと思います。



青年実行委員、ボランティアの中の学生の愛情ある対応を見て、日本の明るい未来が見えました。

今年も大成功！
大変お疲れ様でし
た。（関口）



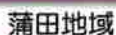
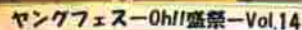
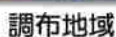
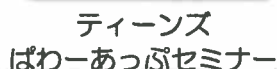
OTAAクティビティ
ギャラリィ

アクティビティギャラリーでは、例年、広報活動の一環として大田区青少年委員会の活動、毎年開催している三地域（調布・大森・蒲田）のリーダー講習会、大田区主催のティーンズぱわーあっぷセミナーを紹介しています。

今回は隣に駄菓子屋のブースが展開をしており、入口から駄菓子コーナーを経て展示コーナーへと良い導線が生まれ、より多くの来場者に展示を通して青少年委員の活動をPRすることが出来ました。

来年も多くの方に足を運んでいただき、大田区青少年委員会活動をPRしていきたいと思います。

(船戸)



ヤングフェスの歴史

★平成十七年六月、『第一回ヤングフェスティバル』

平成十九年十二月「第二回ヤング
エスティバル・第一回Ch!盛祭」

★平成二十一年三月二十日『第三回ヤングフェスタ・第二回on!!盛祭』

★平成二十二年三月二十二日『第四回ヤングフエスタ・第三回お!!盛祭』

★平成二十三年十二月十八日『第五回』

4『テーマ』ふれあい、つながりあ

える仲間がいる。一なかにある場所がある」

★平成二十五年三月十日『第六回ヤングフェス―第五回ヤング盛祭―』05テ

「マウススタート」新たな仲間と前へ
進もう!!

★平成二十六年三月九日『第七回ヤン

クニエス第六回「盛祭」の「E」テーマ「SNEXT」新たなステージに

★平成二十七年三月十五日『第八回ヤ

『セブン・デイズ・in 盛岡』

★平成二十八年三月十三日『第九回ヤングフェス』第8回お祭り盛装くまぐら

「僕らの可能性は ∞ （無限

★平成二十九年三月十九日『第十回ヤ

ンクフェス―第九回or!!盛祭<0.9>』
 テーマ「探求心「Q」；真のタイトル

★は「平或三十年三月十一日」第十一回や

『ボクらの青春が、ここに』

★平成三十一年三月十日『第十二回や

ンク・エス、第十一回a!!盛祭
Vol.11』テーマ「平成っ子まつり」

★令和五年三月十日『第十三回ヤングフェス』第11回ch!!盛祭くVol.12『テ

★令和六年三月十七日『第十四回ヤン
ーマ「Zero Story」

『グフェス―第十三回―』盛祭-Vol.13』

★令和七年三月十六日『第十五回ヤン

クフエスー第十四回のお!!盛祭-Vol.14』
 テーマ「青年たちの文化祭」